



2020年8月14日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 メ ド レ ッ ク ス  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 松 村 米 浩  
(コード番号：4586 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 取 締 役 経 営 管 理 部 長 藤 岡 健  
(TEL. 03-3664-9665)

### 日本DDS学会 学術集会における発表のお知らせ

2020年8月28日～29日に開催される第36回日本DDS学会 学術集会において、当社と徳島大学が共同で実施した研究成果が発表されることになりましたのでお知らせいたします。

#### ◇第36回日本DDS学会 学術集会 開催概要

会期：2020年8月28日(金)～29日(土)

会場：神戸学院大学ポートアイランドキャンパス

URL：<http://www.procomu.jp/dds2020/>

#### ◇当社と徳島大学との共同での発表演題

イオン液体を用いた経皮吸収型がんペプチドワクチン開発に関する検討

#### 【概要】

がんワクチン(\*)は、がん特異的な細胞傷害性T細胞(CTL)を誘導することによって抗腫瘍効果を発揮する。一方で既存のがんワクチンのほとんどは免疫細胞が少ない皮下や筋肉内に注射されるため、十分な効果が得られないことがある。免疫細胞が豊富に存在する皮内に抗原やアジュバントを到達するために我々は、イオン液体を用いた経皮吸収型がんワクチンの開発を試みた。本研究では、がん抗原としては様々ながん細胞において発現が確認されているWT1(Wilms tumor gene 1)タンパク由来のペプチドを用いた。イオン液体により抗原およびアジュバントの皮膚透過性が向上した。また、Lewis肺癌細胞を移植したマウスに本製剤を貼付すると、WT1特異的CTLの誘導とそれに伴う腫瘍成長抑制効果が観察された。以上の結果より、イオン液体を用いた本経皮吸収型がんワクチンはがん治療に有用であることが示された。

\* がんワクチン: 正常細胞には全く発現しないが、がん細胞のみに発現しているがん抗原を標的とした、がんの予防や治療を行なうために用いるワクチン。

以 上